

【委員会における議論のポイント】

今回の格付け結果は、9名の委員全員がF評価で一致しており、当委員会としてF評価を付したとすることができる。こうした事態は、これまで20回の格付けをしてきた中で、2回目のことである。

委員によっては、

- 調査体制の十分性、専門性
- 調査スコープの的確性、十分性
- 事実認定の正確性、深度、説得力
- 再発防止提言の実効性、説得力

という考慮要素について、Fよりもよい評価をすることもあったが、その他の考慮要素については、概ねネガティブな評価で一致した。

当委員会としては、新たな調査委員会を組成して調査をやり直す必要があるとの意見で一致した。

以上